2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　株式会社秋川牧園　　上場取引所　東
コード番号　　1380　　ＵＲＬ　https://www.akikawabokuen.com/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）秋川　正
問合せ先責任者　（役職名）取締役経営管理部長　　（氏名）原田　良人　　ＴＥＬ　083-929-0630

半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	4,060	△0.3	△86	－	△48	－	△37	－
2026年３月期中間期	4,073	7.9	15	－	39	－	19	－

（注）包括利益　2027年３月期中間期　△3百万円（－%）　2026年３月期中間期　19百万円（－%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	△8.96	－
2026年３月期中間期	4.70	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	7,102	2,136	30.0	511.38
2026年３月期	6,973	2,181	31.2	522.11

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　2,132百万円　2026年３月期　2,176百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	0.00	－	10.00	10.00
2027年３月期	－	0.00			
2027年３月期（予想）			－	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,320	0.5	△44	－	40	△78.2	11	△48.1	2.71

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
連結業績予想の修正については、本日（2026年11月13日）公表いたしました「2027年３月期第２四半期（中間期）業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

② ①以外の会計方針の変更　：無

③ 会計上の見積りの変更　：無

④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	4,179,000株	2026年３月期	4,179,000株
② 期末自己株式数	2027年３月期中間期	9,878株	2026年３月期	9,878株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	4,169,122株	2026年３月期中間期	4,169,122株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．２「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）中間連結貸借対照表 …… 3
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 5
中間連結損益計算書 …… 5
中間連結包括利益計算書 …… 5
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 6
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間（2026年４月１日～2026年９月30日）におけるわが国の経済は、高水準の賃上げによる雇用・所得環境の改善や各種政策の効果などにより、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、中東情勢の緊迫化を背景とした原油・ナフサ価格の上昇や円安基調の継続によりエネルギー・原材料価格が上昇し、物価上昇の長期化が個人消費に影響を及ぼすなど、先行きは依然として不透明な状況が続いております。食品業界におきましては、原材料価格の上昇に加え、包材価格、物流費及び人件費の上昇が継続し、価格転嫁の動きが広がる中、消費者の節約志向は根強く、引き続き厳しい事業環境で推移しました。

当社グループにつきましては、冷凍加工食品を中心とした販売の堅調な推移や価格改定の効果があったものの、直販事業の売上減少の影響により、売上高は前年同期をわずかに下回りました。利益面につきましては、価格改定の効果や中国子会社の損益改善があったものの、飼料価格が第１四半期に続き第２四半期にも大幅に値上げされたことに加え、ナフサ価格の高騰による包材等の値上げや、夏場の若鶏の出荷体重の減少による鶏肉一次処理場の歩留りの悪化、直販事業の売上減少などの影響により、減益となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は、40億60百万円（前年同期比0.3%減）、営業損失は86百万円（前年同期は15百万円の営業利益）、経常損失は48百万円（前年同期は39百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する中間純損失は37百万円（前年同期は19百万円の親会社株主に帰属する中間純利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（生産卸売事業）

生産卸売事業につきましては、消費者の節約志向を背景に、相対的に価格の割安な鶏肉へのシフトが進む中、冷凍加工食品を中心に販売が堅調に推移したことに加え、製品の価格改定の効果もあり、売上高は増加となりました。利益面につきましては、販売拡大と価格改定効果に加え、中国子会社の損益改善が寄与したものの、飼料価格の大幅な値上げや包材等のコスト上昇、夏場の若鶏の出荷体重の減少による鶏肉一次処理場の歩留りの悪化などにより、減益となりました。

この結果、生産卸売事業の売上高は、32億86百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は１億84百万円（前年同期比19.5%減）となりました。

（直販事業）

当社の「食」を中心とした安心・安全な商品を全国の個人のお客様に直接お届けする直販事業につきましては、物価上昇に伴う消費者の節約志向の高まりを背景に、新規会員及び既存会員のリピート率がともに低下したことなどにより、売上高は減少しました。利益面につきましては、会員募集費や運賃、減価償却費の減少があったものの、売上高の減少に加え、仕入価格及び人件費の上昇の影響が大きく、減益となりました。

なお、直販事業の売上回復を喫緊の経営課題と位置付け、外部の専門的な知見も活用しながら、顧客理解を起点としたブランドコンセプトの再構築を進めております。あわせて、新規会員の獲得から継続利用に至るまでの顧客とのコミュニケーションを抜本的に見直すなど、事業競争力の強化に向けた施策に全社を挙げて取り組んでおります。

この結果、直販事業の売上高は、７億73百万円（前年同期比7.1%減）、営業損失は30百万円（前年同期は13百万円の営業利益）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ１億28百万円増加し、71億２百万円となりました。これは主に、商品及び製品の増加（１億１百万円）によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ１億74百万円増加し、49億65百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加（１億27百万円）及び長期借入金の増加（83百万円）によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ45百万円減少し、21億36百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、売上高は、直販事業において消費者の節約志向の高まりによる売上の減少が下半期も続くことなどから、当初予想を下回る見込みであります。利益面につきましては、上半期の業績の下振れに加え、飼料価格が10月以降もさらに値上げされたことや、直販事業の売上高の減少などにより、当初予想を下回る見込みであります。

詳細につきましては、本日（2026年11月13日）公表いたしました「2027年３月期第２四半期（中間期）業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	904,775	745,595
売掛金	886,785	935,100
商品及び製品	466,785	568,202
仕掛品	344,860	370,691
原材料及び貯蔵品	202,637	213,306
未収入金	111,632	118,871
その他	79,066	94,617
貸倒引当金	△4,968	△5,299
流動資産合計	2,991,575	3,041,086
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,838,511	1,795,192
機械装置及び運搬具（純額）	414,521	457,220
使用権資産（純額）	134,536	138,877
土地	1,083,409	1,084,040
建設仮勘定	35,967	77,754
その他（純額）	121,131	131,030
有形固定資産合計	3,628,079	3,684,116
無形固定資産		
その他	25,335	23,059
無形固定資産合計	25,335	23,059
投資その他の資産	328,376	353,938
固定資産合計	3,981,791	4,061,114
資産合計	6,973,367	7,102,200
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	599,483	611,645
短期借入金	1,628,728	1,755,810
リース債務	9,183	1,526
未払法人税等	67,275	10,147
賞与引当金	53,010	100,605
その他	520,014	463,426
流動負債合計	2,877,695	2,943,161
固定負債		
長期借入金	1,270,190	1,353,992
社債	100,000	100,000
リース債務	133,484	152,265
繰延税金負債	8,343	9,479
退職給付に係る負債	357,320	375,453
役員退職慰労引当金	44,497	31,424
固定負債合計	1,913,836	2,022,615
負債合計	4,791,531	4,965,776

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,150	714,150
資本剰余金	553,441	553,441
利益剰余金	841,599	762,572
自己株式	△5,881	△5,881
株主資本合計	2,103,309	2,024,282
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	65,266	93,395
為替換算調整勘定	8,184	14,324
その他の包括利益累計額合計	73,450	107,719
非支配株主持分	5,076	4,421
純資産合計	2,181,836	2,136,424
負債純資産合計	6,973,367	7,102,200

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	4,073,051	4,060,079
売上原価	3,082,316	3,131,319
売上総利益	990,734	928,760
販売費及び一般管理費	975,614	1,014,788
営業利益又は営業損失（△）	15,120	△86,027
営業外収益		
受取利息	842	1,396
受取配当金	1,222	1,658
受取保険金	17	13
補填金収入	－	17,561
補助金収入	37,163	12,762
為替差益	－	4,663
その他	5,520	17,698
営業外収益合計	44,767	55,753
営業外費用		
支払利息	15,398	18,412
為替差損	5,073	－
その他	0	55
営業外費用合計	20,472	18,467
経常利益又は経常損失（△）	39,415	△48,742
特別利益		
固定資産売却益	1,162	398
補助金収入	2,548	－
特別利益合計	3,710	398
特別損失		
固定資産売却損	228	792
固定資産除却損	369	1,018
固定資産圧縮損	2,548	－
特別損失合計	3,146	1,810
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	39,979	△50,154
法人税、住民税及び事業税	19,587	2,371
法人税等調整額	1,194	△14,536
法人税等合計	20,781	△12,165
中間純利益又は中間純損失（△）	19,198	△37,989
非支配株主に帰属する中間純損失（△）	△399	△654
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失（△）	19,597	△37,335

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益又は中間純損失（△）	19,198	△37,989
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,421	28,129
為替換算調整勘定	△10,513	6,139
その他の包括利益合計	△92	34,269
中間包括利益	19,105	△3,720
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	19,505	△3,066
非支配株主に係る中間包括利益	△399	△654

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	39,979	△50,154
減価償却費	238,433	232,897
のれん償却額	1,520	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△1,823	233
賞与引当金の増減額（△は減少）	45,535	47,534
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△5,074	18,133
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	1,755	△13,072
受取利息及び受取配当金	△2,065	△3,054
支払利息	15,398	18,412
有形固定資産売却損益（△は益）	△933	393
有形固定資産除却損	369	1,018
売上債権の増減額（△は増加）	△9,068	△46,781
棚卸資産の増減額（△は増加）	△7,153	△133,615
未収入金の増減額（△は増加）	△46,691	△7,238
仕入債務の増減額（△は減少）	49,632	12,057
補助金収入	△2,548	－
固定資産圧縮損	2,548	－
その他	△89,992	△68,855
小計	229,820	7,907
利息及び配当金の受取額	2,065	3,054
利息の支払額	△13,064	△16,231
補助金の受取額	2,548	－
法人税等の還付額	6,224	3,166
法人税等の支払額	△6,070	△56,500
営業活動によるキャッシュ・フロー	221,523	△58,603
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△202,124	△289,931
有形固定資産の売却による収入	3,674	3,258
有形固定資産の除却による支出	△189	△55
投資有価証券の売却及び償還による収入	－	15,000
貸付けによる支出	△2,590	△220
貸付金の回収による収入	3,714	2,512
ソフトウエアの取得による支出	△12,528	△1,050
その他	△1,519	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△211,562	△270,486
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	25,000	50,000
長期借入れによる収入	－	380,000
長期借入金の返済による支出	△203,511	△219,116
配当金の支払額	△41,172	△41,410
リース債務の返済による支出	△2,183	△745
財務活動によるキャッシュ・フロー	△221,866	168,727
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,908	1,182
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△213,814	△159,180
現金及び現金同等物の期首残高	968,035	904,775
現金及び現金同等物の中間期末残高	754,221	745,595

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自2025年４月１日　至2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計
	生産卸売	直販	
売上高			
外部顧客への売上高	3,240,065	832,985	4,073,051
セグメント間の内部売上高又は振替高	247,097	5,692	252,789
計	3,487,162	838,678	4,325,840
セグメント利益	229,822	13,176	242,999

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	242,999
のれんの償却額	△1,520
全社費用（注）	△226,357
中間連結損益計算書の営業利益	15,120

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自2026年４月１日　至2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計
	生産卸売	直販	
売上高			
外部顧客への売上高	3,286,311	773,768	4,060,079
セグメント間の内部売上高又は振替高	248,609	5,967	254,576
計	3,534,920	779,735	4,314,656
セグメント利益又はセグメント損失（△）	184,939	△30,057	154,881

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	154,881
全社費用（注）	△240,909
中間連結損益計算書の営業損失（△）	△86,027

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）
該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。